



ニュースリリース

▶ 2015 年

▶ 企業情報

▶ 生産・販売

▶ クルマ・技術

▶ 株主・投資家情報

▶ CSR・環境・社会活動

▶ その他

▶ 2014 年

▶ 2013 年

▶ 2012 年

▶ 2011 年

▶ 2010 年

▶ 2009 年

▶ 2008 年

▶ 2007 年

▶ 2006 年

▶ 2005 年

▶ 過去のニュース

2015年02月27日

新型「マツダ CX-3」を発売

—「次の時代のスタンダードを創造する」、先進のコンパクトクロスオーバーSUVの誕生—

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、新型コンパクトクロスオーバーSUV『マツダ CX-3』を全国のマツダ系、マツダアンフィニ系、マツダオートザム系販売店を通じて、本日より発売します。メーカー希望小売価格は消費税込みで2,376,000円～3,024,000円、月間販売台数は3,000台を計画しています。



「マツダ CX-3 XD Touring L Package」

新型「CX-3」は、「SKYACTIV(スカイアクティブ)技術」*1とデザインテーマ「魂動(こどう)-Soul of Motion」を全面的に採用した新世代商品の第5弾となるモデルです。上質かつスタイリッシュなデザイン、あらゆる場面での使いやすさを追求したサイズとパッケージング、素直に運転が楽しいと感じられる走行性能を高次元で融合しています。

新型「CX-3」は、クリーンディーゼルエンジン「SKYACTIV-D1.5」専用車として設定*2。最大トルク270N・mと2.5Lガソリンエンジンを上回るほどの大トルクによる優れた走りと、25km/L(JC08モード燃費)*3の優れた燃費性能を両立させています。全グレードにオートマチックトランスミッション(SKYACTIV-DRIVE)やマニュアルトランスミッション(SKYACTIV-MT)、新世代4WDシステム「i-ACTIV AWD(アイ・アクティブ・エーダブリュディー)」を設定。駆動方式やトランスミッションを問わず全グレードで自動車重量税、自動車取得税が免税となるほか、国の購入補助金(クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金)制度を利用した場合、XD Touring L package 2WD(メーカー小売希望価格280万8千円(消費税込))について、最大16万円が補助金として給付されます*4。

また、「SKYACTIV-D 1.5」には、ディーゼルエンジンのノック音を抑制する「ナチュラル・サウンド・スモウザー」*5を新開発し、世界で初めて採用しました。これにより走行時の静粛性を高めるとともに、エンジン音質の向上を実現しています。

さらに、新型「CX-3」にはカーコネクティビティシステム「Mazda Connect(マツダコネクト)」や、先進安全技術「i-ACTIVSENSE(アイ・アクティブセンス)」*6も搭載しており、お客さまの多様化するニーズに対し、「走る歓び」と「優れた環境・安全性能」をもってお応えします。

新型「CX-3」の開発を担当した、富山道雄主査は、「新型『CX-3』は、『次の時代のスタンダードを創造する』という志を掲げ、スペックや数値の追求だけでは表せない、人がクルマに求めている本質的な価値とは何かをゼロベースで問い直し、マツダの最新のデザインと技術で創り上げました。都会からアウトドアまで、どんなシーンにも相応しい1台となる新型『CX-3』は、既存の価値観にとらわれることなく、他人とは違う自分らしさを表現できるクルマとして、お客様の期待を超えてライフスタイルを刺激し続ける存在になると確信しています」と述べました。

■ 新型「マツダ CX-3」の概要は以下のとおり

● 最新の「魂動」による、美しさと先鋭を追求したデザイン

既成概念に捉われず突き抜けた位置へと飛躍するクルマ造りに挑戦。デザインテーマ「魂動」をスタイリッシュに表現しました。

エクステリアデザイン

- 塊感のあるボディサイドとそれに対比させる伸びやかなキャンピングや、ショートオーバーハング等により、圧倒的な存在感のあるプロポーションを実現。
- ボディカラーは、精密に研ぎ澄まされた金属感や精密な硬質感を表現し、光によって表情が変化する、新色の「セラミックメタリック」の他、デザインテーマ「魂動」のイメージカラー「ソウルレッドプレミアムメタリック」など、全8色を設定。

インテリアデザイン

- ドライバーオリエンテッドなコックピットや心地よい包まれ感のあるドアトリムなど、先鋭のかつ上質なインテリア空間を実現。ディテールの造り込みにも徹底的にこだわりました。
- アクセントカラー「ダークレッド」を新開発。クールさを感じさせるような青みがかった色合いの赤を、ドアアームレストやニーパッド、ステッチ、シートのパイピング、エアコンルーバーベゼルなどに採用*7し、各グレードに最適に配置。グレードごとに異なる世界観を表現。



「マツダ CX-3 XD Touring L Package」インテリア

関連ニュース

2015/03/05

- ▶ マツダ、新型「マツダ ロードスター」の生産を開始

2015/03/05

- ▶ マツダ、「スクラムワゴン」及び「スクラムバン」をフルモデルチェンジして発売

2015/02/27

- ▶ 新型「マツダ CX-3」を発売

2015/02/20

- ▶ マツダ、ディーゼルノック音を大幅に低減する世界初の技術「ナチュラル・サウンド・スモウザー」を新開発

2015/02/16

- ▶ マツダの高効率トランスミッション「SKYACTIV-DRIVE」が第12回新機械振興賞「機械振興協会会長賞」を受賞

●**ドライビングの楽しさと本当の使いやすさを追求したパッケージング**

最新の魂動デザインで表現したスタイリッシュなプロポーションを実現しつつ、パッケージングの本質を追求することで、既成概念に捉われない次世代のスタンダードを目指してパッケージングを造り込みました。

着座姿勢

- ・見晴らしのよさ、安心感、乗り降りのしやすさなど、様々な条件の中から最大の価値を生む最適な着座位置のスイートスポットを追求。やや高めの車高でありながら、体格差に関わらず体に負担を感じにくい優れた乗降性を実現。
- ・後席の着座位置を前席よりも高く、内側に設定することで、後席乗員もすっきりした前方への開放感を楽しめるとともに、対角線上の乗員同士が会話しやすいレイアウトを実現。

理想のドライビングポジション

- ・理想的なペダルレイアウトや操作しやすい姿勢に調節できるステアリング調節機構、高いフィット性を発揮する振動吸収ウレタンを使用したシートを採用したことで、理想のドライビングポジションを実現。さらに高めの着座位置で、景色の見え方まで徹底して造り込みました。

ボディサイズ

- ・全長を4,275mm、ホイールベースを2,570mmとし、伸びやかなプロポーションと必要十分な居住性を実現。1,765mmのワイドな全幅と、限界までボディ四隅にタイヤを配置して実現した前1,525mm・後1,520mmのトレッドによって、力強いスタンスを強調し、安定感のある走りを実現。
- ・全高は機械式立体駐車場などに入庫できる1,550mmとして日本の生活環境を考慮した都市部の日常での利便性を高め、使用シーンを拡大。

荷室スペース

- ・定員乗車時で幅1,000mm、前後長780mm、容量350L（DIN方式、サブトランク含む）の荷室スペースを確保。また積載状況に応じて上下の位置を変えられるフレキシブルボード*8を採用。

●**安全性を最優先に考える新世代ヒューマン・マシン・インターフェイス（HMI）**

走行安全性をすべてに優先させ、より多くの情報を扱いながらも、安全に運転に集中できる「Heads-up Cockpit」のコンセプトに基づいて設計しました。

カーコネクティビティシステム「Mazda Connect（マツダコネクト）」

- ・新型「CX-3」では、新世代カーコネクティビティシステム「Mazda Connect（マツダコネクト）」を採用。インターネットラジオなどの音楽ソースやナビゲーション、i-DM*9や燃料モニターなどの車両情報のコントロールが走行中でも安全に操作可能。

●**「人馬一体」の走りを楽しめる、卓越のダイナミック性能**

徹底して人の感覚に沿った設計、チューニングにより、「人馬一体」のダイナミック性能を実現しました。

優れた静粛性

- ・新型「デミオ」で好評の「SKYACTIV-D 1.5」を新型「CX-3」にも搭載。燃焼特性の造り込みによるエンジンノイズの抑制に加え、CAE解析による最適な部位への遮音材の配置など、静粛性の向上に特に注力。走り出した瞬間から実感できる優れた静粛性を実現。
- ・世界初の、「ナチュラル・サウンド・スモูザー」*5の採用により、発進時やゆっくり加速するときに生じるディーゼルノック音を抑制するとともに、さらなるエンジン音質の向上を実現。

●**世界基準の安全性性能**

ドライバーの安心と歓びのため、マツダの安全思想「Mazda Proactive Safety（マツダ・プロアクティブ・セーフティ）」*10に基づき、ドライバーが状況を正しく認知・判断・操作できるようにサポートし、事故のリスクを最小限に抑える技術を搭載しました。

安全性性能

- ・リスクの認識を支援して被害の低減を図るアクティブセーフティでは、先進安全技術「i-ACTIVSENSE（アイ・アクティブセンス）」*6を幅広く搭載*11。各種検知デバイスによる安全装備と、運転操作に対してリニアに応答する優れた運動性能や視界などの基本性能により、ドライバーの認知・判断・操作を適切にサポート。
- ・パッシブセーフティでは、軽量高剛性ボディ「SKYACTIV-BODY」を基本に、シートベルトやエアバッグシステムなどの乗員保護機能、歩行者保護性能の造り込みに注力し、優れた安全性性能を実現。

■**マツダ CX-3のメーカー希望小売価格（消費税込）は以下のとおり**

（※写真掲載のモデル）

機種名	駆動	エンジン	変速機	メーカー希望 小売価格 （消費税込）	JC08モード 燃費*12	減税 レベル*13 取得税/重量税
XD	2WD (FF)	SKYACTIV-D 1.5	SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	2,376,000円	23.0km/L	免税/免税
			SKYACTIV-MT (6MT)	2,376,000円	25.0km/L	
	4WD		SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	2,592,000円	21.0km/L	
			SKYACTIV-MT (6MT)	2,592,000円	23.4km/L	
XD Touring	2WD (FF)		SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	2,592,000円	23.0km/L 【23.2km/L】	
			SKYACTIV-MT (6MT)	2,592,000円	25.0km/L	
	4WD		SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	2,818,800円	21.0km/L 【21.2km/L】	
			SKYACTIV-MT (6MT)	2,818,800円	23.4km/L	
XD Touring L Package	2WD (FF)	SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	2,808,000円※	23.0km/L 【23.2km/L】		
		SKYACTIV-MT (6MT)	2,808,000円	25.0km/L		

		SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	3,024,000円	21.0km/L 【21.2km/L】
	4WD	SKYACTIV-MT (6MT)	3,024,000円	23.4km/L

- 【 】内は、i-ELOOP(アイ・イーループ)装着車の場合。
i-ELOOPは、メーカーオプションの「イノベーションパッケージ」(64,800円高(消費税込))を選択することで設定可能。
- 上記メーカー希望小売価格には、保険料、税金は含まれておりません。また購入時にリサイクル料金10,500円が別途必要となります。
- 特別塗装色「ソウルレッドプレミアムメタリック」を選択した場合は、54,000円高(消費税込)。
- 特別塗装色「クリスタルホワイトパールマイカ」を選択した場合は、32,400円高(消費税込)。
- 全グレードクリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金の対象車です。*4
- *1 「サステナブル“Zoom-Zoom”宣言」に基づいて、「走る喜び」と「優れた環境・安全性能」を高次元で調和することを目指し開発したエンジン(ガソリン・ディーゼル)、トランスミッション、ボディ、シャシーなどの新世代技術の総称。
- *2 国内のみ。
- *3 2WD(FF)・SKYACTIV-MT(6MT)車の数値。一定の試験条件での数値であり、実際の数値は走行条件によって異なります。
- *4 クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金の交付上限額はグレード/駆動/変速機によって異なります。但し、補助金の予算額を超過した時点で受付終了となり、補助を受けられなくなりますのでご注意ください。
(ご参考)
マツダの「クリーンディーゼル補助金」 ホームページ
<http://www.mazda.co.jp/purchase/eco/subsidy/>
一般社団法人 次世代自動車振興センター ホームページ
<http://www.cev-pc.or.jp/>
- *5 「ナチュラル・サウンド・スーザー」はメーカーオプション。
- *6 マツダ独自の安全思想「Mazda Proactive Safety(マツダ・プロアクティブ・セーフティ)」に基づき開発した、ミリ波レーダーやカメラなどの検知デバイスを用いたマツダの先進安全技術の総称で、事故が避けづらい状況での衝突回避・被害軽減を図るプリクラッシュセーフティ技術に加え、認知支援を行いドライバーの安全運転をサポートするアクティブセーフティ技術で構成されています。
詳細は <http://www.mazda.co.jp/beadriver/safety/i-activesense/> をご覧ください。
- *7 XD Touring, XD Touring L Packageに設定
- *8 メーカーオプションのBose®サウンドシステム付車の場合は、ベースボックスが装着されるため、非装着車に比べてフレキシブルボードの床面が82mm高くなります。また、フレキシブルボードは下段には設置できません。
- *9 インテリジェント・ドライブ・マスターの略。走行中には運転操作の状態を示し、運転終了後にはそのドライブで獲得したスコアや到達レベルなどを表示する機能。
- *10 ドライバーが安全に運転できる状態を最大限に確保し、事故のリスクを最小限に抑制することを目指す、マツダ独自の安全思想。
- *11 新型「CX-3」には、「スマート・ブレーキ・サポート(SBS)」、「マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール(MRCC)」、「スマート・シティ・ブレーキ・サポート(SCBS) & AT誤発進抑制制御」、「ブラインド・スポット・モニタリング(BSM)」、「ハイ・ビーム・コントロールシステム(HBC)」、「車線逸脱警報システム(LDWS)」などが搭載されています。
- *12 国土交通省審査値。表示した数値は一定の試験条件での数値であり、実際の数値は走行条件によって異なります。
- *13 環境対応車普及促進税制による減税措置

[◀ 前のページ](#)

[次のページ ▶](#)

[◀ 一覧に戻る](#)

[🔼 PAGE TOP](#)

企業	ブランド	ニュース	CSR	株主・投資家情報	採用
マツダのビジョン	ブランドストーリー	ニュースリリース	CSRへの取り組み	経営方針	新卒採用情報
会社案内	マツダの名車たち	ソーシャルメディア	環境保全への取り組み	IRカレンダー	事務・技術系キャリア採用情報
企業スポーツ活動	ロータリーエンジン開発物語	マツダ公式ブログ ZOOM-ZOOM BLOG	安全への取り組み	業績・財務データ	高校生採用情報
マツダミュージアム	プロダクト (別サイトへ)	MAZDA MOVIE CHANNEL	社会貢献への取り組み	IR資料	技能系期間社員採用情報
キッズミュージアム			リサイクル法への取り組み	株式・社債情報	障がい者採用情報
DISTRIBUTOR LIST	デザイン	イベント情報	社外からの主な評価	個人投資家の皆様へ	マツダ販売会社グループ採用情報
	テクノロジー	MAZDA LIVE TV		電子公告	
	モータースポーツ			免責事項	その他採用情報
	ドライビングアカデミー				
	ロードスター25周年アニバーサリー				

サイトマップ

このサイトについて

個人情報の取り扱い

フォローする:

©Copyright Mazda Motor Corporation. All rights reserved.